学校番号	2002B

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ β	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編 数学Ⅱ （数研出版）						
副教材等	３TRIAL 数学Ⅱ （数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年次の数学Ⅱでは、数学Ⅰで身につけた内容を発展させる単元を扱い、授業の中で「分かったこと」「できるようになったこと」を確かめつつ、「考えたこと」「工夫したこと」を自分で整理し、「疑問に思ったこと」「もっと知りたくなったこと」を大切にして理解を深めていけるように取り組んでいきますので、分からないところはいつでも相談してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・「三角関数」「指数関数と対数関数」「微分法と積分法」についての基礎的な知識や技能の習熟を図る。
【思考力、判断力、表現力等】
・事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるよう、またそれらを活用できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・数学を問題の解決に活用する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	三角関数、指数関数と対数関数及び微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	三角関数、指数関数と対数関数及び微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	三角関数、指数関数と対数関数及び微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第4章 三角関数	第1節 三角関数 1　角の拡張 2　三角関数 3　三角関数のグラフ 4　三角関数の性質 5　三角関数を含む方程式、不等式	a: 一般角や三角関数の基本性質を理解している。 b: 三角関数の値やグラフを状況に応じて求めることができる。 c: 三角関数の性質やグラフの特徴に興味をもち、調べようとする。	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート テスト 提出ノート
		第2節 加法定理 6　加法定理 7　加法定理の応用	a: 加法定理の意味や成り立ちを理解している。 b: 加法定理を利用して値の計算や式の整理ができる。 c: 定理の活用場面に関心をもち、自ら考察しようとする。			
	第5章 指数関数と対数関数	第1節 指数関数 1　指数の拡張 2　指数関数	a: 指数の拡張や指数関数の性質を理解している。 b: 指数関数の計算やグラフを用いて問題を解くことができる。 c: 指数の性質や指数関数の特徴に興味をもち、考えようとする。	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート テスト 提出ノート
		第2節 対数関数 3　対数とその性質 4　対数関数 5　常用対数	a: 対数の定義や性質を理解している。 b: 対数の性質を活かして方程式や不等式を扱うことができる。 c: 対数と指数の関係に興味をもち、積極的に活用しようとする。			
後期	第6章 微分法と積分法	第1節 微分係数と導関数 1　微分係数 2　導関数とその計算 3　接線の方程式	a: 微分係数や導関数の基本的な意味を理解している。 b: 微分の計算を用いて関数の変化を分析することができる。 c: 変化の様子を捉える考え方に関心をもち、調べようとする。	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート テスト 提出ノート
		第2節 関数の値の変化 4　関数の増減と極大・極小 5　関数の増減・グラフの応用	a: 関数の増減や極値の判断方法を理解している。 b: 導関数を使ってグラフの特徴や解の個数を考察できる。 c: 関数の変化の仕組みに興味をもち、自ら探究しようとする。			

		第３節 積分法 ６　不定積分 ７　定積分 ８　定積分と面積	a: 不定積分や定積分の基本的な意味を理解している。 b: 積分を利用して面積や量の変化を求めることができる。 c: 積分のもつ有用性に関心をもち、積極的に活用しようとする。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度